



「外国語活動校種間連携パートナーズスクール事業」は、南丹管内の高校生と小学生が外国語による交流を行う事業です。小学生にとっては、「英語を使って実際にコミュニケーションする楽しみを感じる場」として、高校生にとっては「これまで培ってきた英語力を教える側になって発揮する場」として、双方にとって価値のある交流の場となっています。

小学生は身近な先輩から直接学ぶことで自分の将来に対する希望や関心を持ち、また、高校生は小学生への指導を通して日々の学習に対する自信や誇りを持つなど、校種の違いを越えた連携を通して、「つながる学び」に取り組んでいます。

Greeting

令和4年12月20日(火)、京都府立園部高等学校2年生スピーチ選択生徒と、南丹市立胡麻郷小学校及び殿田小学校の5年生が、園部高等学校にて交流しました。

高校生から英語で歓迎の言葉が送られ、小学生も英語で挨拶をしました。高校生は早くから会場に待機し、小学生を温かく出迎え、お互いに緊張しつつも和やかな雰囲気の中で交流がはじまりました。



Keyword Game

はじめに「キーワードゲーム」で交流しました。高校生が事前に準備した「カナダの動物」と「アメリカの動物」の絵と英単語が書かれた手作りのカードを見ながら、まずは高校生がお手本に発音していきます。発音の仕方を覚えたところで、ランダムに動物の名前を読み上げていき、あらかじめ設定した動物が発音された時に、動物の写真をタッチします。珍しい動物もたくさんいましたが、次第に小学生の反応速度も上がっていき、元気な声で発音し、ゲームを楽しみました。



Simon Says Game

次に「サイモンセズゲーム」で交流しました。指示役の人が、命令文の前に"Simon says"(サイモンさんの命令です)と付けたときだけ命令に従います。付いていなければその命令に従ってはいけません。最初は簡単でしたが、だんだんとスピードが速くなるにつれて難しくなり、高校生に負けじと小学生も頑張りました。



Self-Introductions with Follow-up Questions

高校生はイラストが描かれた紹介カード、小学生は英語の紹介カードやタブレットを使って自己紹介資料を事前に準備し、自己紹介をしました。その後高校生から英語で質問があり、小学生は一生懸命英語で表現しました。高校生は小学生が分かるようにゆっくり話しかけたり、わかりやすい表現に変えて質問したりするなど、小学生の様子を丁寧にしながら活動を進めていました。最後は各グループの代表の小学生が、高校生とペアになってみんなの前で自己紹介を披露しました。緊張しながらもペアの高校生の助けを借りて立派な自己紹介ができました。



Thank You and Farewell

小学生は高校生のフォローを受けつつ日々の学習の成果を発揮しながら、英語で伝える楽しさを感じられる交流となりました。高校生が英語で話す姿に、あこがれの気持ちを持ち、これからの学習につなげることができるのではないのでしょうか。

高校生は自分の知っている英語を小学生にも伝えるように工夫しながら伝え、交流を深めることができました。

